



平成 21 年 12 月 7 日

各 位

会社名 米 久 株 式 会 社
代表者名 代表取締役社長 藤井 明
(コード番号 2290 東証一部)
問合せ先 執行役員 IR 室長 青柳 敏文
(TEL . 0 5 5 - 9 2 9 - 2 7 9 7)

三菱商事株式会社及び伊藤ハム株式会社との
包括業務提携契約の進捗状況に関するお知らせ

米久株式会社(以下「当社」)は、平成 21 年 1 月 30 日に三菱商事株式会社(以下「三菱商事」)及び伊藤ハム株式会社(以下「伊藤ハム」)との間で包括業務提携契約(以下「本業務提携」)を締結しました。ついては、その進捗状況を下記のとおりお知らせ致します。

記

1. 本業務提携に関する進捗状況

3社は本業務提携後に合同で設置した提携推進委員会の下、「食肉に関する取組み」「加工食品に関する取組み」「物流に関する取組み」の3分野について提携を推進することに致しました。各分野において、個別テーマ毎に分科会を設置し、以下のとおり具体的に検討を進めております。

(1) 食肉に関する取組み

国内飼料畜産事業の強化

三菱商事の飼料供給力と当社及び伊藤ハムの食肉販売力を活用し、各社が保有する食肉生産基盤を強化するとともに、他の畜産事業者との関係強化や取組みの拡大を図ります。

海外食肉事業の強化

輸入食肉の調達において、3社で連携し効率性の向上を図ると同時に、各社の海外食肉事業についても連携を図ります。

食肉一次加工機能の集約

当社・三菱商事・伊藤ハムの3社がそれぞれ保有する食肉の一次加工機能について、生産の相互委託、生産設備の集約化を行うことで生産性の向上を図ります。

上記の取組みを通じて3社の食肉販売量を拡大するとともに、国内外の飼料畜産業界並びに食肉業界の健全な発展に貢献することを目指します。

(2) 加工食品に関する取組み

加工食品の委託生産

業務用商品に強みを持つ当社と、コンシューマー商品に強みを持つ伊藤ハムとの間で、委託生産等を通じて効率的な生産体制を構築することを検討しています。これにより生産コストを削減し、両社の加工食品生産・販売の更なる競争力向上を目指します。

資材コスト削減

当社及び伊藤ハムが調達する資材・副原料の需要を集約し、効率的な購買を図ります。

(3) 物流に関する取組み

3社が取り扱う商品・原材料の物流について、配送便の共同利用等による物流の集約化・効率化を図ります。

2. 本業務提携の効果

本業務提携の効果として、平成22年度以降3年から5年を目処に、3社合計で年間80億円（営業利益ベース）の提携効果創出を目標としております。目標提携効果額の分野毎の内訳は以下のとおりです。

(1) 食肉に関する取組み	45億円
(2) 加工食品に関する取組み	25億円
(3) 物流に関する取組み	10億円
合計	80億円

3. 今後の見通し

本業務提携契約の締結による当社の平成22年2月期の連結及び個別業績への影響は軽微であります。

以上